

Surprising Ceramics.



証券コード：5333

トピックス1

NGKの技術でCO<sub>2</sub>を捕まえる！？

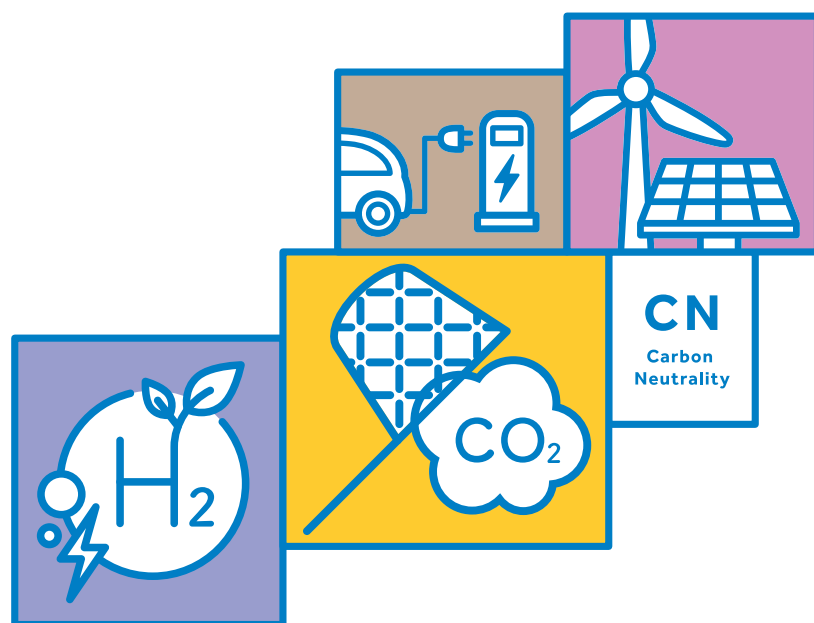
トピックス2

NGKの技術がデジタル社会に貢献！

# 株主のみなさまへ

2025年度中間報告書

2025.04.01 > 2025.09.30



© NGK・kero/dwarf

## 目次

P.1 トップメッセージ

P.2 業績ハイライト

P.3、4 セグメント別概況

P.5～7 トピックス

P.8 会社情報

## ● Top Message ●

株主のみなさまには平素から格別のご高配を賜り、  
厚くお礼申し上げます。  
当社グループの2025年度第2四半期連結累計期間の事業概況を謹んで  
ご報告申し上げます。

代表取締役社長 小林 茂

### Q 当中間期の業績について教えてください。

A 売上高、営業利益、経常利益は、第2四半期の過去最高を更新しました。  
NAS®電池の製造及び販売活動終了に係る特別損失を計上し、中間純利益は減少しました。

エンバイロメント事業においては、自動車関連製品は関税率の引き上げを見越した駆け込み需要等により増収増益となりました。また、デジタルソサエティ事業においても、半導体製造装置用製品で先端ファウンドリ工場新設の計画後退はあるものの、AI用途の半導体に対する需要は継続しており一部客先の在庫積み増しが上期に集中したことで、増収・増益となりました。エネルギー&インダストリー事業では、がいしの需要は堅調に推移したものの、NAS®電池の製造及び販売活動終了に係る特別損失を計上した結果、親会社株主に帰属する中間純利益は減少しました。

### Q 通期の見通しについて教えてください。

A 売上高、営業利益は過去最高を更新する見込みです。  
NAS®電池の製造、販売活動終了に係る特別損失を計上する一方、政策保有株式の縮減による売却益を織り込み、当期純利益は4月公表値を据え置いております。

エンバイロメント事業においては、米国関税の直接的な影響は限定的ですが、期初想定通り市況は下期にかけて減速することを想定しています。円高の影響もあり売上高は横ばい、減益見込みです。デジタルソサエティ事業の半導体製造装置用製品についても一部客先における在庫積み増しの需要が下期には剥落することを想定するものの、AI用途の半導体需要は継続し増収・増益の見込みです。その他、NAS®電池の製造及び販売活動終了に係る特別損失を計上する一方、政策保有株式の縮減による売却益を織り込み、親会社株主に帰属する当期純利益は4月公表値を据え置いております。



**Q 配当について教えてください。**

**A 4月の予想から年間10円の増配予定です。**

中間配当及び期末配当予想について、4月の予想から1株当たり5円増配の38円とし、年間76円とさせていただきます予定です。

**Q 株主のみなさまへメッセージをお願いします。**

**A 2026年4月1日から「NGK株式会社」に社名変更します。**

当社は2025年1月31日に開示しました通り、2026年4月1日から「NGK株式会社」へ社名変更をいたします。NGKグループビジョンに掲げるありたい姿「独自のセラミック技術でカーボンニュートラルとデジタル社会に貢献する」の実現に向け、事業構成転換に向けた動きの加速と、国内外におけるブランド認知の更なる向上を図っていきます。

## 業績ハイライト

[詳細はこちら](#)

### 売上高

■ 通期 ■ 中間期

(単位：億円)

### 営業利益

■ 通期 ■ 中間期

(単位：億円)

### 親会社株主に帰属する 中間（当期）純利益

(単位：億円)

■ 通期 ■ 中間期

### 1株当たり配当金／配当性向

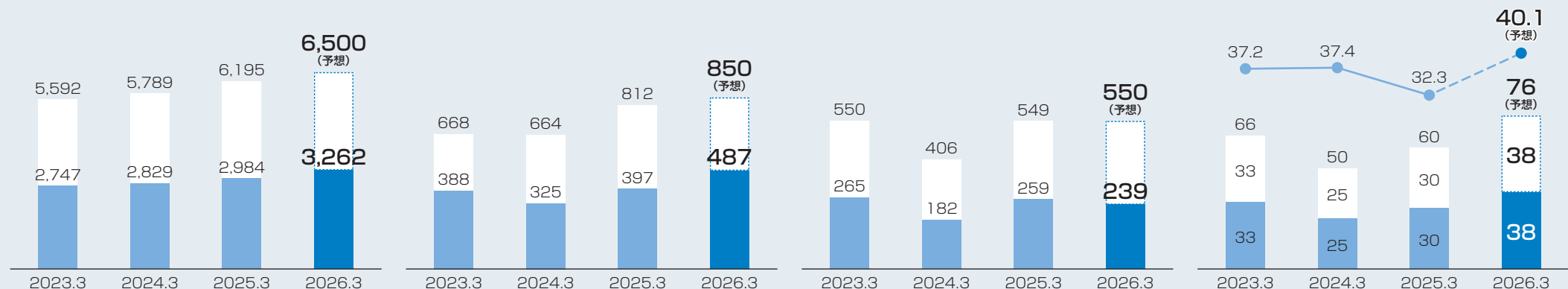
1株当たり配当金

(単位：億円)

■ 通期 ■ 中間期

● 配当性向

(単位：円、%)



## セグメント別概況

### デジタルソサエティ事業

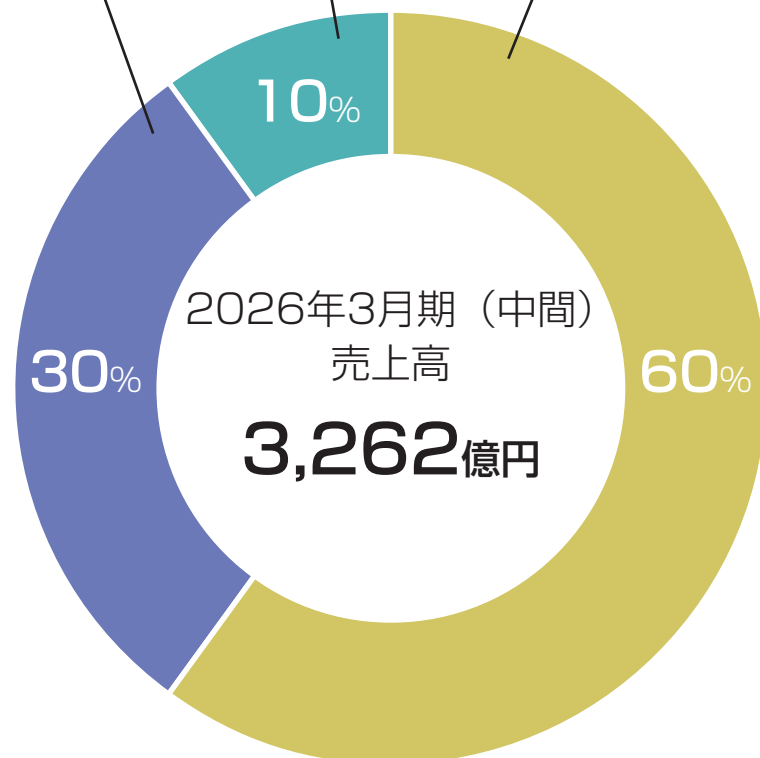
978億円

### エネルギー&インダストリー事業

318億円

### エンバイロメント事業

1,966億円



## エンバイロメント事業



自動車、化学、医療、食品、原子力など幅広い分野の環境課題を解決し、より豊かな社会の発展に資する製品の開発・製造

### 売上高

1,966億円

### 営業利益

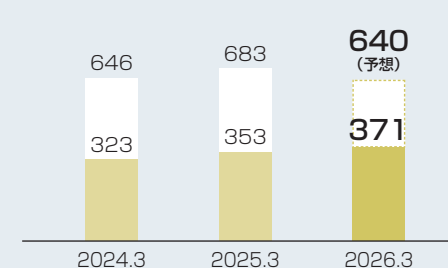
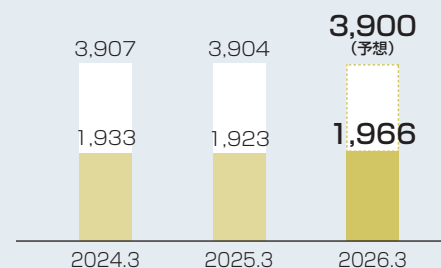
371億円

■ 通期 ■ 中間期

(単位：億円)

■ 通期 ■ 中間期

(単位：億円)



### ポイント解説

自動車関連製品の出荷が関税率引き上げを意識した駆け込み需要等により増加したほか、産業プロセスの工事案件売上計上も重なり、売上高は前年同期比2.5%増の1,973億98百万円、営業利益は同5.1%増の371億6百万円となりました。

※上記売上高はセグメント間の内部売上高または振替高793百万円を含んでおります。



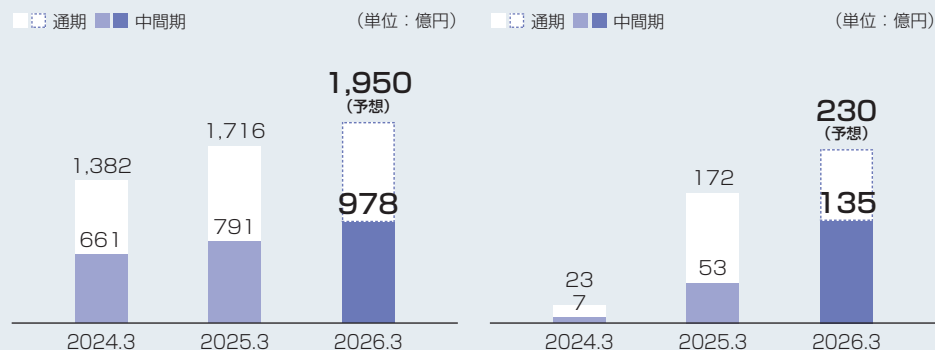
## デジタルソサエティ事業



IoTやAI（人工知能）の進展、エレクトロニクス製品の高度化や小型・軽量化などに貢献する製品の開発・製造

売上高  
978億円

営業利益  
135億円



### ポイント解説

半導体製造装置用製品について、先端ファウンドリ工場新設の計画が後退しているものの、一部客先の在庫積み増しにより出荷が増加し、売上高は前年同期比23.6%増の978億27百万円、営業利益は同157.2%増の135億6百万円となりました。

※上記売上高はセグメント間の内部売上高または振替高1百万円を含んでおります。

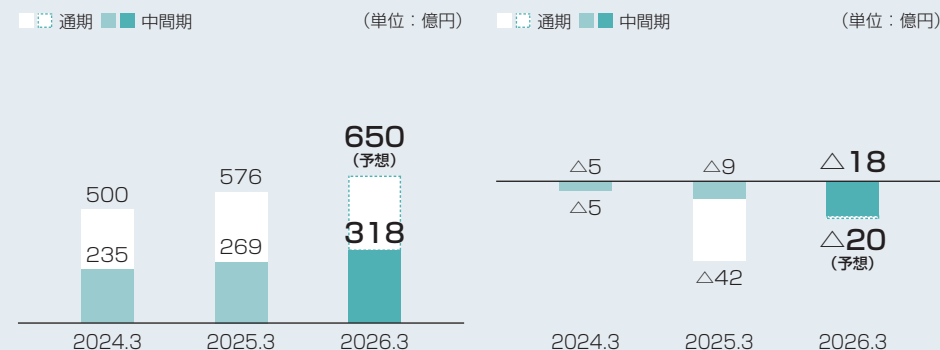
## エネルギー&インダストリー事業



エネルギーの安定供給を支え、社会を実現する製品の開発・製造

売上高  
318億円

営業損失  
18億円



### ポイント解説

がいしの需要が堅調に推移したことにより、売上高は前年同期比17.9%増の321億20百万円、営業損失は17億73百万円の営業損失（前年同期は8億65百万円の営業損失）となりました。

※上記売上高はセグメント間の内部売上高または振替高346百万円を含んでおります。

## Topics 1

[環境貢献製品についての詳細はこちら](#)

# 日本ガイシの挑戦 環境貢献製品およびサービスの開発と普及

NGKグループは、事業活動を通じた社会への貢献が企業の最も重要な使命の一つと考えます。

創業から1世紀以上にわたり蓄積した技術を生かして、地球環境に貢献する製品や技術を開発し、提供します。

## 当社の環境貢献製品およびサービスの定義

以下の要件のうち、いずれかを満たすものを環境貢献製品およびサービスと定義しています。

- 1 第三者機関に表彰または認定されたもの
- 2 地球環境への環境負荷抑制・軽減に寄与するもの
- 3 地域の環境負荷低減または発生負荷の対処に寄与するもの

2025年3月期  
売上高比率

66%

現在のラインアップは  
12の製品およびサービス！



ハニセラム



ディーゼル・パティキュレート・  
フィルター (DPF)



車載用高精度NOxセンサー

カーボンニュートラル関連は6つ！



カーボンニュートラルに貢献する開発中の新製品について  
次ページで詳しく紹介します！



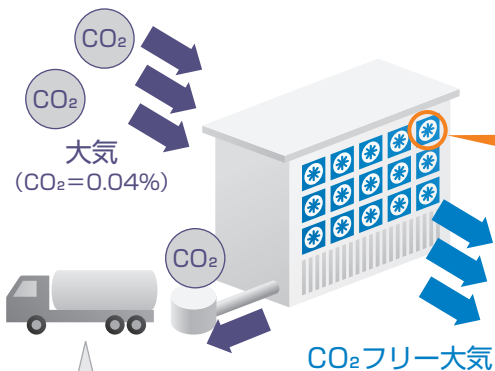
# NGKの技術でCO<sub>2</sub>を捕まえる！？

## ダイレクト・エア・キャプチャー（DAC）

カーボンニュートラルに貢献する製品として、当社が開発中なのがダイレクト・エア・キャプチャー用ハニカムです。

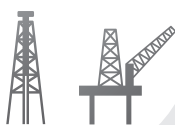
### ダイレクト・エア・キャプチャーとは？

大気中のCO<sub>2</sub>を回収する取り組みのことで、脱炭素化の実現に向けて欠かせない技術として注目されています。



回収したCO<sub>2</sub>は地中に貯留や活用へ

CCS  
二酸化炭素貯留



CCU  
二酸化炭素活用



ココに  
NGK！

当社が開発するのはDAC装置内部に設置するセラミックの基材で、この基材に吸着剤を塗布することでCO<sub>2</sub>の回収に貢献します。

当社製品「ハニセラム」  
の製造技術を応用しています。

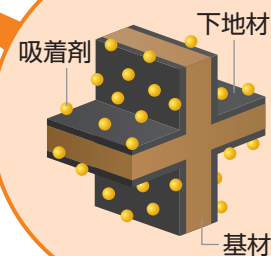
#### 特徴

- ・吸着剤を塗布できる表面積が大きい
- ・耐久性が強い

DAC用セラミック基材が  
多数入っています。

DAC用セラミック基材にCO<sub>2</sub>吸着剤を塗布。  
空気が基材を通過する際にCO<sub>2</sub>を回収します。

DAC用  
セラミック基材



### DAC技術勉強会を 開催しました！

DAC技術をめぐる最新の  
動向と、日本ガイシの  
DAC技術について詳しく  
説明しています。  
ぜひご覧ください！



詳細はこちら

## Topics 2

# NGKの技術がデジタル社会に貢献！

## NEDO「ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業」に参画

## 生成AIの進展による社会課題

世界中のデータセンターの消費電力が増加し、  
環境負荷やエネルギーコストの上昇が社会問題に…

## 解決策として

量子コンピューターの超高速な計算処理が注目される

従来の量子コンピューター  
極低温で動作する

巨大な冷却装置と膨大な  
エネルギーコストが伴う

光方式の量子コンピューター  
室温で動作が可能

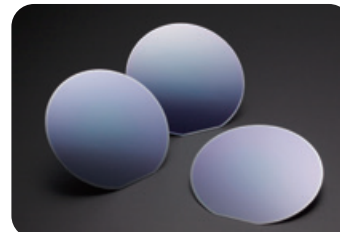
・冷却装置が不要  
・既存の光ファイバー通信との親和性も高い



しかし、光方式の量子コンピューターは  
原理実証段階にとどまっている

NGKが  
解決！

当社は、光量子コンピューターの実用化を目指したNEDOの「ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業」に参画します。  
「SAWフィルター用複合ウエハー」の開発で長年培った接合・精密研磨技術を活用し、光量子コンピューターの集積回路に必要なTFLN\*ウエハーの開発をします。



SAWフィルター用複合ウエハー

当社製品「SAWフィルター用複合ウエハー」の  
技術を活用します。

- TFLNの材料特性を確保した高い信頼性を実現
- ウエハーの薄型化に貢献
- 量産時のコスト削減
- 競争力強化



\*TFLN (Thin Film Lithium Niobate、薄膜ニオブ酸リチウム)：ニオブ酸リチウム結晶を数百ナノメートルまで薄く加工した複合ウエハー。主にデータセンター内の光集積回路に使われます。

「ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業」についての詳細はこちら ▶

## 統合報告書「NGKレポート2025」を発行

詳細はこちら ▶

NGKグループは1919年の創立以来、独自のセラミック技術で社会課題の解決に貢献し、持続的な成長を果たしてきました。世界が大きな変革を迎えるなか、未来においても社会に価値を創出することを目指して策定した中長期ビジョン「NGKグループビジョン Road to 2050」をストーリーとして説明し、ビジョンを実現可能な理由として、独自のセラミック技術を、どのように新たな市場や製品に応用・展開し事業構成を転換していくかを示します。また、当社のありたい姿を実現するためのマテリアリティ（重要課題）をKPIとともに紹介。「長期で価値創造し続けられるNGKグループ」を示します。





## 会社概要

[詳細はこちら ▶](#)

表 記 社 名	日本ガイシ株式会社
商 号	日本碍子株式会社/NGK INSULATORS, LTD.
設 立	1919年5月5日
資 本 金	701億円（2025年9月末現在）
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場/名古屋証券取引所 プレミア市場
本 社 所 在 地	名古屋市瑞穂区須田町2番56号

## HPのご案内

### コーポレートサイト

当社の企業情報や製品情報などを詳しく紹介しています。

<https://www.ngk.co.jp/> ▶

### いい未来が、見えてきた。

日本ガイシのTVCMです。  
Web限定ムービーも公開しています。

<https://www.ngk.co.jp/iimirai/> ▶

### 個人投資家のみなさまへ

IR情報など、個人投資家のみなさまへ向けたコンテンツをご用意しています。

<https://www.ngk.co.jp/ir/individual/> ▶

株主のみなさまの  
声をお聞かせください

コエキク

当社では、株主のみなさまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記へアクセスいただき、  
アンケートサイトにてご回答ください。

[アンケート回答はこちら ▶](#)

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。  
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 ☒ koekiku@pronexus.co.jp